

OSFだより

特別号 会長を偲んで



発行・編集 財団法人岡本国際奨学交流財団 263-0023 千葉市稲毛区緑町1丁目19番11号 TEL043-248-8808 FAX043-238-4138
osf-midori1911@coda.ocn.ne.jp http://www.osf-family.com

OSF(Okamoto Scholarship Foundation)の活動案内 1、留学生宿舍の運営 2、留学生へ奨学金の支給 3、留学生の学習&人生相談・国際交流



父が亡くなりまして早一ヶ月半が経ちました。時間は慌ただしく過ぎ去るばかりで、まだもう一つ実感がわいてきません。今も奥の会長の部屋からひょっこり顔を出して「やあ、理事長！」と言う声が聞こえてきそうです。

葬儀の際には師走のお忙がしい中、多数の方がご参列くださり、本当にありがとうございました。

父の一生は普通の人の2倍か3倍にもあたり、大変に中身の濃いものでありました。

父は昭和27年から20年間石油販売の仕事をしておりました。そしてオイルショックを機にホームセンターの仕事に転じ、次の20年間は店を増やし会社を大きくすることに力を注ぎました。

(株)ケーヨーの株式上場を果たしたあと、68歳の頃、父はこれからの人生について、いろいろ考えたようでした。「70歳になったら若い社員に任せて、第一線から身を引こう」または「金を稼ぐのは技術、使うのは芸術」という言葉を聞き、「どれだけのお金を稼いだがその人間の価値ではない。生きている間にどれだけのお金を世のためにきれいに使いきるかが、人間の生涯の価値だ」とも申しておりました。これらの考えのもと一大決心をして、私財を投じ留学生援助の財団を作りました。

会長の考えは、よくある普通の振り込み財団にはしたくない。「家族主義」をモットーに、留学生のオアシスでありたい。というもので、それをもとに留学生との肌と肌、心と心の触れ合いを大切に事業を進めて参りました。

会長は常に「日本を広く深く理解してほしい。無理して日本を好きにならなくてもよい。いつの日か、日本に留学して、財団に関わってよかったと思っしてほしい」と言っておりました。

財団ができて今年で20年。家族のような留学生も400人近くになりました。父は孫のような留学生との会話を非常に楽しみにしておりました。財団の仕事についても「世の中にこんなに楽しい仕事があったのか」と言っておりました。

財団を始める前の父は、厳しい合理主義者の一面がありましたが、財団を始めてからは情味あふれる合理主義者になりました。

このような父の生き方は、息子の私から見て「天晴れ」の一言に尽きます。素晴らしい父でした。これからも岡本正の息子として誇りを持って生きていきます。

財団の仕事を引き継ぐにあたり、不肖の息子ではありますが「家族主義」に沿って、心の温かさではどこにも負けない財団づくりを目指して頑張りたいと思っています。

みなさま、どうかこれからもお力をお貸しください。

理事長 岡本 和久



私は平成 6 年奨学生になり、それから会長(当時理事長)をはじめ皆さんのやさしさと交流室の美しい雰囲気深く感銘し、時々勉強や研究に疲れた時、このオアシスのような交流室に入って気楽に本を読んだり、交流したり、又は秋の観光旅行、年末の忘年会など楽しい思い出いっぱいでした。特に毎月奨学例会の際、会長からの挨拶は意味が深く、知識豊かで、我々留学生には勉強になりました。今十年が過ぎ、私はカナダで受け取る「OSF だより」を読むのを楽しみにしていました。会長の挨拶で人類の進歩と友好を引き続き謳っていることにいつも感動します。本当に立派な人生だったと思っています。(奨学生 L)

今日、悲しいメールを見ました。あんまりに突然でビックリしました。今年日本に行ったときに、顔色も良くしてお元気でしたね。会長は優しくいい人なので、きっと極楽世界で生きております。光子夫人のご様子はいかがでしょう？心はもう光子夫人のそばに飛んで行ったような気がします。ご家族の気持ちが早く元気になりますよう、会長のご冥福をお祈りいたします。(N)

財団のホームページで、会長がお亡くなりになったとの情報に接しました。びっくりと悲しみと、ある種の空しさを抱いてこの正月の三日間を過ごしました。ピザの関係ですぐには駆けつけられませんが、今年の 8 月には北海道大学と私の大学との交流会を利用して、財団を訪問する予定です。その際に会長への偲びをさせていただきたいと思っております。

(奨学生 T)

突然のことで本当に無念でございます。自分の人生で一生忘れられないご援助を与えて下さった方が不幸になってしまったことを聞き、非常に悲しい思いです。本当に心優しい、知識の豊かな方でした。私の目標の方でした。国際的な教育者です。いつか私も岡本会長のようなことができるかなと思ってきたものです。これからも会長の理念を目標として皆様と一緒に頑張ります。(奨学生 A)

岡本会長のご永眠に、突然の悲しいお知らせを受けて呆然としております。先月の 24 日に会長とゆっくり話し、記念写真を撮って、思わぬこれが最後の出会いになりました。会長は想像以上にお元気な様子とお見受けしていただけない、いまだに信じられない思いであります。光子奥様、和久理事長およびご家族の皆様にとどのような言葉を持ってお慰め申し上げれば良いのか、一日も早くこの悲しみから立ち直れますよう、お祈りいたしております。とりあえず書面にてお悔み申し上げます。

(奨学生 T)

この間妻がお邪魔した時には、まだお元気そうでしたのに、先週年賀状を出したばかりなのに、また会長の「OSF だより」の文章を待っていたのに、会長のような素晴らしい人間、財団のような素晴らしいことをなされ、国々からのたくさんの留学生がその暖かさを求めているとはいえ、本当に悲しくて悔しい気持ちでいっぱいです。(奨学生 S)

メールで訃報を知り、しばらくは頭が真っ白になってしまい、なんと行っていいかわかりません。

帰国してもうすぐ 10 年になります。その間に 3.4 回日本に行き、その度に財団の事務所へ岡本会長に会いに行きましたが、最後にお会いしたのは 2007 年の夏でした。普段私からは年に一度年賀状を出すぐらいになってしまいましたが、欠かさずに届いていた「OSF だより」から会長の文章を拝読し、元気なご様子を確認し、今年 10 月号にも会長のお写真が載せてあり、お元気そうで安心していました。

実はきのう、会長への年賀を書き終え、今日出そうという時の訃報なので、あまりに突然で、ただ驚き、残念、悲しい気持ちでいっぱいです。新しい年の頭に、いつも楽しみにしていた会長ご夫婦からの素敵なお年賀が来ることがないことを思い、寂しくて、涙が滲んできます。あの温かく励ます言葉が永遠に心に残ります。

財団の一期生として、長い間お世話になり、また会長のすばらしい人格、人間性、生き方に魅了され、心から尊敬しています。そのご恩を返さないまま、会長がいなくなり、本当に悔しいです。日本に駆けつけ、せめて最後のお別れをしたいと思いますが、時間的にも間に合わず、身も抜けられなくて、ただ会長の思い出をめぐって、心からご冥福をお祈りいたします。今日は冬至、覚えが間違っていなければ会長夫人のお誕生日です。なんと寂しい誕生日だろう。奥様の気持ちを思うと、いっそう悲しくなります。

(奨学生 S)

突然の悲報に、驚きと悲しみでいっぱいです。岡本会長の優しい笑顔、共に過ごした楽しかった思い出など昨日の思い出は尽きません。幾多のご厚情を思えば、すぐにでも駆けつけ、最後のお別れに伺わなければならないのですが、ペナンの日本領事館に問い合わせをしたところ、日本に行くためのビザを取るのに 3 日間かかるそうで、葬儀に間に合わず参列できず残念です。衷心より、岡本会長が安らかにご永眠されますよう遠くから手を合わせて、ご冥福をお祈りしております。(奨学生 T)

会長さんは偉大な方でした。財団のパーティーでの会長さんのお話は今でもはっきり覚えております。「アジアは世界の中心になり発展するとき、発展させるのは君たちだと思う」。何より会長さんの笑い声が好きでした。お父ちゃんと会長さんの笑い声が同じですね。OSF 便りの 1 ページ目を読むのが大好きでした。読書の大切さ、人との出会いの楽しさなど会長さんが私たちにたくさんのメッセージを届けてくれましたね。このように会長さんとの思い出は図りきれない程あり、これからも一生大切に思っていきたいです。会長さんは私たちの心に永遠に生きるのだと思います。(奨学生 B)

OSF からの手紙を頂いて、いつものように楽しく会長さんの文章を読もうとしたら、会長が亡くなられたとのお知らせに接し、大変驚き、また悲しんでいます。会長夫人をはじめ皆様にはさぞお悲しみのことと存じます。奨学生及び寮の集まりでの思い出が昨日のこのようにたくさん蘇ってきました。会長との会話はそう多くありませんが、深く、優しく、心を温めてくれる記憶がたくさん残っています。奨学生から卒業しても、OSF だよりの会長の文章を読むのをとても楽しみにしていました。身近な物の考え、日本への憂慮、国際社会への視線など、会長の人格を表した文章を読みながら、自分がどうあるべきか、何ができるかなどを深く考えさせられました。このような文章はもう読むことができなくなる、こんな素敵な人ともう会えなくなると思うと、家族寮にいた時、もっともっと話しておけばよかったと後悔されてなりません。妻も子供も驚き落胆していますが、23 日に中国に帰ることとなり、式に参列することができないことを心苦しく思っております。まずはメールにてお悔み申し上げます。(会館生 K)

皆様から、この他にもたくさんの追悼のメッセージを戴きました。

思いもかけず岡本正会長御逝去の由を承り、驚いております。私たちは岡本財団を訪れるたびに、会長に温かく迎えられ、話に花が咲きました。会長のお話から様々なことを教わりました。会長の微笑みや笑い声はいまも目の前に浮かんできます。会長とはもう会えないことを思えば、まことに残念でなりません。

毎月の「OSF だより」がきて、いつもの巻頭の会長さんの文章を読み終わったところに、何というショックなお知らせが…。胸の何処か深い所から残念で、寂しい気持ちがじりじりと染み出してきました。何を言葉にすればよいのか、わからなくなっていますが…。毎月の「OSF だより」にある会長さんの文章を読めば、日本にはこのような立派な方が居られたお蔭で、世界に誇れる日本が存在するわけが分かります。天寿とはいえ、本当に寂しいです。ご冥福を心より祈っております。

会長さんはたくさんの方から尊敬されて、素晴らしい人生を送られたと思います。たくさんの方の人生に影響を与えたに違いありません。

だいぶ前のことですが、雑誌に載った拙文を送ったら、会長さんがすぐにお八ガキを送ってくださって、感想や経験をたくさん語って頂いたんです。貴重な思い出です。

思いもかけず岡本正会長逝去の由を承り、驚いております。私たちは岡本財団を訪れるたびに、会長に温かく迎えられ、話に花が咲きました。会長のお話からさまざまなことを教わりました。会長の微笑みや笑い声はいまも目の前に浮かんできます。会長とはもう会えないことを思えば、まことに残念でなりません。

会長の広島の話や、石油危機の話のいろいろ聞かせて下さり、毎回の OSF 便りも…いつもいい勉強をさせてもらっていました。財団での食事で会長と一緒に笑ったり、話をしたり、経済や国の将来や、たくさんの方のアドバイスももらいました。会長のことは一生忘れることはありません。

ずっと会長の 100 歳の写真を撮影するのを楽しみにしていたのに。前電話で「年末の贈り物は蘭がいいですか？明太子がいいですか？」と伺った時、理事長に明太子がいいと返事をしたとき、気付けは良かったと思いました。これから会長から生前に頂いた金玉名言を大事にして、前に進んで行こうと思います。

会長が年忘れパーティーでいらっしやらなかったのが、最後になるとは思えませんでした。最後の別れはとても辛いけど、きっと会長は誰よりも天国で私たちの姿を見ながら永遠に喜んで幸せだと思えます。22 日に千葉に行きます。一番心配なのはお父さんや会長夫人です。くれぐれも気を付けて下さい。

こんな悲しい知らせを知ってショックでした。会長様が自分のお祖父様の存在で、笑顔が目に見えています。また、会長様のおかげで沢山の留学生が学業に集中でき、日本に暖かい家族が増えました。言葉にできなくて申し訳ございません。

日本が好きになり、岡本財団家族がたくさんできた恩返しもできないまま、お別れすることとなり、無念でなりません。これからの恩返しは、より岡本財団家族と楽しく、仲良く過ごすことだと思います。頑張ってお父ちゃんも元気出して下さい。また、時間があれば伺います。

今日、会社から帰ってきたときに、いつも楽しみにしている「OSF だより」が届いていました。毎回毎回、会長が書かれている筆頭を期待して読んでいました。しかし、最後に会長が永眠なされたことを読んで、とてもショックでした。

会長がこの財団を始めたときからの付き合いができて、僕は幸せです。いつも優しい会長を見て、怖がる半分と尊敬半分という気持ちでした。

お父さんが 12/16 に亡くなられたという知らせがありました。本当にビックリしました。告別式には参加できませんが、心から参加したいと思っています。日本にいた時、会長さんにいろいろとお世話になったことを、ちゃんと覚えています。

会長の存在はとても大きかったのですが…。本当に寂しいです。きっと、いつものように天国で私達を見守って下さると思います。帰国する前に伺ったとき、優しい言葉や、焼き物についてお聞きしたら、いろいろと説明して下さいました。若い時に韓国にいらっしやったことをよくお話しして下さったこと等々、思い出いっぱいです。



突然の悲しい知らせを信じられないでいます。なんとお悔やみを申し上げてよいかわかりません。皆様、お忙しい事と思いますが、もしよから電話をしたいと思っております。ご都合の良い時間がおわかりになれば、その時間にお電話でお話ができれば幸いです。

今の私の気持ちは言葉では表せないです。いつも会長様の哲学的な意味深い文章を読むのを楽しみにしていました。これからそれがなくなるなることを思うと本当に寂しい

です。今は研究室にいます。さっきからずっと静かになって偉大なる会長のことを思っていました。本当にビックリしました。

本当に残念なことがあったね。私は今お父さんが感じていることを分かっています。会長さんは本当に誇りに思われる素晴らしい人でありましたね。こんな素晴らしい人の息子であるお父さんもこれからもっと強くなって頑張ってください。今まで会長さんの助けを頂いてきた私たちも頑張ります。

本日、とても悲しい知らせを頂きました。人生の中にこんなショックを受けたことはございません。言葉がないほどです…。本当に残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。

会長夫人へ 会長様の突然の不幸を伺い、申し上げる言葉もございません。ご家族のお嘆きはいかがばかりかとお察し申し上げます。会長夫人のご悲嘆を思いますと、お慰めのしようもありませんが、どうぞ心を強くお持ちくださいますよう、お祈り申し上げます。

私たちは、会長様のご逝去の知らせを受け大変驚いております。本当に言葉が出ないほどビックリして悲しいです。会長様は私たちのような留学生をずっとサポートして下さって、このご恩は一生忘れません。ここに上海及び杭州にいる OSFOB 一同を代表し、会長様のご逝去に謹んで追悼の意を表します。



マレーシアでのOB会に招待された



例会で3分間スピーチ



奨学生の月例会



留学生と一泊旅行



留学生と共に過ごした
在りし日の岡本会長



年忘れパーティ



パーティで花束贈呈



パ スティケーキをカット



80歳のお祝いに贈られたベトナムの服を着て



バーベキュー大会(学生会館の屋上にて)



千葉大の学園祭にて

岡本正の葬儀の際にはお忙しい中、大勢の方に見送って頂き誠に有難く厚く御礼申し上げます。日頃から彼は”ピンピンコロリといけたらいいね”と言っておりましたが、まさにその通りになりました。亡くなる二週間前まで財団事務所に出ておりましたので...

病床にあった十日間はとても穏やかで、楽しかった頃の思い出話を一緒にしては”いい人生だったよ”と笑っておりましたのに、まさかこんなにあっけなく逝ってしまうとは思ってもよらないことでした。最後に”ありがとう”と一言残して安らかに息を引き取りました。

昔から何事にも思い切りがよくて引き際が見事な人ではありましたが、往生際までが見事すぎて私たちは呆然とするばかりでした。このあたりが人生の幕引きどきだと思ったのでしょうか。

共に過ごした64年間は、敗戦直後の混乱期からの出発で山あり谷ありの人生でした。彼は真面目な仕事大好き人間で、常に高い理想を掲げそれに向かってぶれることなく、ひたすらに邁進する人でした。

競争の激しい流通業界に40年間いた頃は毎日が闘いでイキイキと輝いておりましたが、70歳で始めた第2の人生も、別の楽しみを戴いてますます張り切って働いておりました。いろいろな国の優秀な留学生とおしゃべりをするのが大好きでしたから“財団を創って一番得をしたのは僕だね”と言うのが口癖でした。

90年の生涯を、まったく違う世界で楽しい人生を二度も生きた彼はさぞ満足して昇天したことでしょう。何を聞いてもすぐに答えてくれた相棒がいなくなってこんなに寂しいことはありませんが、四十九日の法要も本日終えましたので、明日からは気持を強く持って普通の生活に戻れるよう努力するつもりであります。この度は多くの方々に支えて頂き感謝の気持ちでいっぱいでございます。有難うございました。

岡本 光子